

リハビリテーション部

スタッフ紹介

副部長（准教授）	沢田光思郎
副部長（講師）	白石 裕一
副部長（療法士長）	久保 秀一
講師	井上 敦夫
講師	椋代 茂之
講師	森井 貴子
理学療法士（係長）	奥田 求己
理学療法士（係長）	山端 志保
理学療法士（係長）	瀬尾 和弥
理学療法士（主任療法士）	山名 麻衣
理学療法士	清水 直人
理学療法士	戸枝 葵
理学療法士	山口 正喜
理学療法士	織田 将也
理学療法士	本木 涼介
理学療法士	喜多 郁果

理学療法士	松尾 祐香
理学療法士	上島 大輝
理学療法士	藤原 颯太
理学療法士	吉田 詳啓
理学療法士	井上 航
理学療法士	木村 眞子
理学療法士	湯浅 亮
理学療法士	布施 博規
理学療法士	中尾 明里
作業療法士（係長）	梅本 明
作業療法士	原田 宗一郎
作業療法士	松井 善也
作業療法士	河邊 祥子
作業療法士	録澤 景介
言語聴覚士（主任療法士）	阪下 英代
言語聴覚士	高橋 紫鈴

私たちの業務

リハビリテーション医学・医療は、機能回復のみではなく、心身に障害を持つ人々の全人間的復権を理念として、潜在する能力を最大限に発揮させ、日常生活活動（ADL）を高め、家庭や社会への参加を可能にし、その自立を促進するものです。

リハビリテーション医学の対象となる疾患は多岐にわたり、代表的なものとしては、運動器疾患（骨折などの外傷、変形性関節症、脊椎疾患、リウマチ性疾患、スポーツ障害など）、中枢神経疾患（脳卒中、脳腫瘍など）、循環器疾患（狭心症、心筋梗塞など）、呼吸器疾患、摂食嚥下障害などがあげられます。年齢としても、新生児から超高齢者までが対象となります。

リハビリテーション部は中央診療部門に属し、急性期のリハビリテーション治療（各疾患・障害による合併症や不動による合併症などの予防・早期改善、ADL訓練による社会復帰の推進）を中心とした診療を行います。

診療は、各診療科からの依頼により、リハビリテーション部とリハビリテーション科の医師が診察・評価を行い、理学療法、作業療法及び言語聴覚療法を処方します。理学療法は、運動機能の改善を目標として、筋力増強や関節可動域改善、歩行練習などを行います。作業療法は、麻痺などの機能障害に対しADL能力の改善を目標として訓練を行います。循環器のリハビリテーション治療は心筋梗塞、狭心症、心臓手術後の社会復帰、再発予防および合併症予防を目的として、安全かつ効果的な運動を実施します。言語聴覚療法は、失語症・構音障害・音声障害などによるコミュニケーション障害の改善を目的に治療を行っています。

また、基礎的・臨床的研究にも積極的に取り組み、機能評価室には最新型の3次元動作解析装置を導入し、床反力計による歩行分析、動作解析などを行うことの出来る体制を整えています。学会発表も積極的に行い、リハビリテーション医学の基礎発展に貢献するとともに、実際の臨床の場にフィードバックしていくことを目標としています。

府立医大 リハビリテーション部 TEL 075-251-5552（受付）